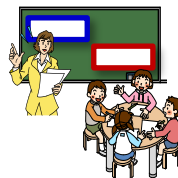




学校の教育力向上に向けた組織的な取組

今年度も10月を迎え、マラソンでいえば、折り返し地点を過ぎたところです。さて、中部教育事務所では、本年度、管内市町村教育委員会が計画する学校支援訪問に55校訪問させていただく計画になっています。9月までの学校支援訪問では、各学校の様々な工夫で「学校の教育力向上」が図られていることが分かりました。そこで、一部になりますが、各学校の取組を紹介いたします。是非、参考にしてください。



【個別最適な学びと協働的な学び】

E学校では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことで、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に取り組んでいました。取組の一つに「自由進度学習」がありました。初めての取組に先生方が試行錯誤する中で、「指導と評価の一体化」の視点も頭に入れた授業づくりが行われていました。

また、「スクールワイドPBS」や「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた授業実践にも取り組んでいました。



【校内研究における組織的な取組】

B学校では、年度初めに「ひなたの学び」は、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善であることを確認した上で、代表者による研究授業を実施し、そこで見出した成果と課題を基に、全職員による研究授業（一人一授業・相互参観）につなげ、全職員で授業改善に取り組んでいました。

【授業の補完】

A学校では、「学習態度の習慣化の徹底」、「授業での習熟の時間の確保」、「基礎的・基本的事項の繰り返し指導」、「家庭と連携した家庭学習の内容の改善」などの視点で、日常的な授業改善に取り組んでいました。繰り返し指導や子どもの「学ぶ意欲」をつなげることで成果を出しています。

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実について

国立教育政策研究所では、「令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会」の説明資料等及び説明動画を令和7年3月末(予定)まで公開しています。

説明資料は、国語と算数・数学ですが、他の教科の先生方にとっても、これからの教育に求められる学習指導や育成を目指す資質・能力の理解に役に立つ内容です。説明動画は、見るだけで理解しやすいので、授業改善の参考にしてください。

※ 二次元コードより、ホームページにアクセスすると、下方に説明動画があります。

※ 過年度の資料には、英語、理科の説明資料(説明動画無し)があります。

自己研鑽のために!



問合せ先：中部教育事務所
(担当：安部)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、「ひなたの学び」を推進しています。